

みなしご通信

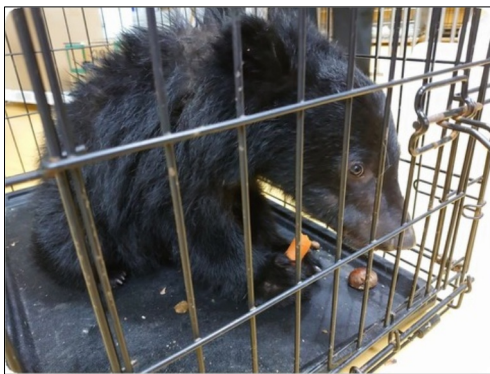


解決策は「クマ殺せ」じゃない

今現在、ニュースやワイドショー、ネットなどでは《クマ出沒》のニュースが流れまわっています。がそれはどれも建設的な内容のものではなくクマ1人殺し犯、クマ出沒2殺して解決……こんな薄っぺらい内容ばかりです。そのせいで一部の人は「クマ殺せ」で盛り上がりつつありますがこのクマ出沒問題はなにも今に始まったことではなく広島本部付近でもクマはこれまでも普通に出てきていてその都度「クマが出たから気をつけましょう」と注意喚起がなされていただけで特に全国に上がるようなニュースでもなかったです。安佐動物公園内にもクマは《毎年》出てきており職員たちはすでにクマが歩くルートを把握しているためそのエ

リアのみ閉鎖してほかのエリアは普通に開放しています。なのになんにも触発されたのか今年はその広島市ですらクマが出たら殺して解決の方向になり目撃情報があると箱ワナを仕掛け入ったクマは問答無用で殺して終わりです！

潮目が変わったのは東北地方で起きた人身事故です。もちろん私といたしましては被害に遭われた方には申し訳ないと思うとともに安らかに眠っていただきたいと心からそう願っております。2011年3月11日東日本大震災が起こりその3日後に東北地方の被災地に行くことを発表したら「たくさんの方が亡くなりたくさんの方が困っているこんなときに犬猫どころじゃないだろう！」と《人命優



先論》をガンガンに浴びせられ叩かれまわりました。なにも私は人命を軽んじているわけではなく当時の私は犬猫のことなら私に任せよう！という根拠のない自信を持っていたので※それは今も変わらない(笑)私は誰になんと言われようが私にできることをやろう！世間体を気にしてこのまま東北へ行かないでいると私は絶対に後悔する。モンモンとして夜眠れない。そんな眠れない夜を過ごすぐらいなら思い切って東北まで行く！の気持ちで東北の地に行ったのです。

そんな私は今、日本ではちよつとマニアックな《ク

マ飼人間》のうちの1人です。私のクマは種としてはツキノワグマで去勢雄の6歳で名前はカツと申します(もう少しで7歳)。ツキノワグマは特定動物ですからもちろんちゃんと飼育許可を取って飼っておりまして。私はカツと暮らすようになってから自然界のクマにも思いを馳せるようになってので昨今の《クマ出沒》のニュースが流れるとつらくてつらくて自分の精神を保つためにそれらのニュースは見ないようにして静かにやり過ごしてきました。

ただもともと私の中ではカツが私のもとにきたのは偶然ではなく必然でうちに来た理由があるはず！と強く思っていました。

さらに先日のことですが秋田県内で実際にクマに襲われて大ケガを負われた方のご家族と話をする機会に恵まれたことで、なんだか一気に進んで本日この内容を更新することとなった次第です。秋田県内で実際にクマに襲われた方の娘さんから聞いた話です。被害に遭われた方は高齢のお母さまです。お母さまが外出しようとして自宅玄関から出た瞬間、自宅の庭の柿の木の下で親子3匹のクマが柿を食べていたのが見えたので秋田県民なら誰もが知っているクマと遭遇したときにとる身を守る姿勢をとってその場で頭を抱えて伏せたんだそう。そしてその瞬間ものすごい速さで母クマが襲ってきてお母さまは簡単に転がされ頭皮がペロペロとめくれ足は骨が出るほどの大怪我を負われました。

人間の頭と足の2ヶ所を攻撃したクマはこれで人間は追いかけて来ないだろうと思ったのかそれ以上の攻撃はせず子どもとともに走って逃げて行ったみたいで、お母さまの異変に気付いた家族が外に飛び出したときはすでにクマ親子の姿はなかったそう。お母さまは命に別状はないものの感染症予防として現在もICUで入院治療中です。

ここまでの話を聞いたと

ところで私はすぐにその娘さんに謝りました。『お母さんに大変申し訳ないことをしました。すみません…』すると娘さんは「いえいえ中谷さん！これは人災なんですよ！クマが悪いんじゃないです！これまで秋田県が山の整備もせずクマが出たら殺すという蛮行を繰り返してきたからです！」とおっしゃいました。被害者の娘さんは自分の母親をひどい目に遭わせたクマを憎んでないの？驚いている私に娘さんは「それがおかしいの！母なんてね、転がされながらクマを近くで見たもんでね。かわいい顔してたんだよ」と言ってます」入院中のお母さんは自分をひどい目に遭わせたクマを憎んでないの？娘さんは「秋田県はこれ以上クマを殺してどうするつもりなんでしょう」とも言っておられました。私は驚きました。クマに襲われた人とその家族がクマを憎んでも恨んでもいい。そゝか私が襲われたとしても私も私の周りの人間も誰ひとりとしてクマを憎まんし恨まんじやろうね。もしそのときに私が死んでも私はきつと本望じゃし私の周りの人間も「中谷さんらしい一番いい死に方じゃね」と言うでしょう。ちなみにこんな発表をしている県もあります。【栃木県の発表】下野新聞によると今年の《栃木県内》はミズナラ・コナラのどんぐり類が豊作だから栃木県内ではクマの出没が減っている【広島県の発表】今年にはクマの出没が減っており専門家分析では連日のようにクマによる死傷者が出ている東北地方ではドングリやブナが不作だが西中国山地ではクマのえさとなるドングリやブナなどが豊作なのが必要でクマの出没が減っているのだろうとのこと

【岡山県の発表】10月末現在クマの出没件数は32件で昨年度と同じ時期と比べて約3割にとどまっている。山に食料となるものが豊富なので下（人里）まで降りてきてない個体が多いから、だという。ツキノワグマに限らず野生動物はお腹が空くと余裕がなくなり食べ物を探しまくりまわす。ニホンジカもニホンザルもイノシシもタヌキも昔飼っていたアライグマもみんなそう。それぐらい野生動物はギリギリのところまで生きており野生動物にとつて食べ物のあるなしはイコール生きるか死ぬかなのです。これらを鑑みると誰だつて《緩衝地帯による対策》がナンセンスだとわかります。人家と山の間に緩衝地帯を設けあちらが人間のエリアこちらが野生動物のエリア、山すそをヤブにしないように下葉を刈って遠くをよく見えるようにすると野生動物が人間のエリアには来ないとゆるゝ発想。ですがうちの近所じやゝ鹿もイノシシも向こうがよく見える道路を普通に渡ってます。なんなら広島本部の第3倉庫あたりでは広島本部から500mぐらい離れてるツキノワグマも普通に道路を渡ってますしね。たまに騒がれてます。やはり出沒防止にはこれ一択《山の整備&保全》これしかないんですよ！【餓死を選ぶ生き物はいません】食べ物と飲み水さえあれば山から出てくる必要はぜんぜんないのです！ひとつの種が絶滅すると必ず生態系にひずみが出ます。かつて北海道では牧場の牛が狙われるつてんで野生のオオカミを撃ちまくつて絶滅させてしまいました。そのせいで天敵が居なくなつたエゾシカが増え農作物を荒らすと大問題になっています。私たちはこの《不幸の連鎖》を忘れてはならないのです。山を整備して実のなる木を太く元氣によみがえらせる活動を犬猫みなしご救援隊は広島市の『ふるさと納税』を活用して行っています。どうかこの活動にご協力のほどよろしくお願い致します。

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。



広島本部
〒731-0234
広島市安佐北区可部町今井田690-2
TEL: 080-3522-3745

YAHOO! ネット募金
JAPAN

つながる募金

▲ネットやスマホで当団体に募金できます